

第14回 教育研究推進センター 共同機器セミナー

Agilentのゲノクスソリューション 遺伝子発現解析のポイント～サンプルのQCと信頼性

日時：平成26年6月26日（木）17時00分より

場所：機器センター棟 3F カンファレンスルーム

【プログラム】

1、サンプルのQCの重要性、結果に及ぼす影響

アジレントテクノロジー社
アプリケーションエンジニア
津本 裕子 様



①17:00-17:30 遺伝子発現におけるRNAサンプルの品質管理

②17:30-18:00 ゲノム解析におけるDNAサンプルの品質管理

(18:00-18:10 休憩)

2、リアルタイムPCR法のガイドライン（MIQEガイドライン）

アジレントテクノロジー社
アプリケーションエンジニア
吉田 悟 様

③18:10-19:10 定量PCR：信頼性のある定量PCRとは？

※最近では、さまざまな遺伝子発現解析技術やゲノム解析技術が生み出され、それぞれにユニークなデータが得られる時代になりました。今回のセミナーでは、**これから遺伝子の実験をはじめられる方や実験での疑問をお持ちの方にも参考になるように**、遺伝子発現解析やゲノム解析のサンプルの調製、保管、取り扱いの重要性、また、定量PCR法における結果の信頼性（再現性）やハウスキーピング遺伝子のチョイスによる結果のばらつきなど、MIQEガイドラインを踏まえて、解析結果に与える影響に焦点を絞りセミナーを開催させていただきます。

【お願い】

セミナーをビデオ撮影したものを学内限定でホームページで公開させていただきますことをご了承ください。ご意見、ご希望が御座いましたら教育研究推進センターまでお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ】

教育研究推進センター 船越 洋／千葉伸一 内線2645 e-mail: chichi@asahikawa-med.ac.jp